

宜議第325号-3
平成30年3月30日

議長
大城政利 殿

総務常任委員会
委員長 平良 眞一

委員会審査結果について（報告）

閉会中において、本委員会では案件の審査をいたしましたので、各案件の報告書及び会議録（要旨）の写しを添えて、委員会条例第29条の規定により、その結果を報告いたします。

宜議第325号-3
平成30年3月30日

議長
大城政利 殿

総務常任委員会
委員長 平良 眞一

委員会審査結果について（報告）

第408回宜野湾市議会定例会において、本委員会に付託された案件の審査を閉会中に審査を終了いたしましたので、各案件の報告書及び会議録の写しを添えて、委員会条例第29条の規定により、その結果を報告いたします。

1. 委員会活動

期 間 期 日	会 議 月 日	備 考
平成29年 10月10日	平成29年 10月10日	認定第1号
平成29年 10月11日	平成29年 10月11日	認定第1号
平成29年 10月12日	平成29年 10月12日	認定第1号
平成29年 10月13日	平成29年 10月13日	認定第1号
会議日数 4日間		

審査結果

議案番号	件名	付託月日	議決月日	結果
認定第1号	平成28年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について	平成29年9月12日	平成29年10月13日	認定 (賛成多数)

※結果欄について、賛否が分かれた場合のみ、(賛成多数)等の表記を行い、“全会一致”の場合は特に表記をしない。

総務常任委員会会議録（要旨）

○開催年月日 平成29年10月10日（火）

午前10時00分 開会
午後 4時19分 散会

○場 所 第3常任委員会室

○出席委員（9名）

委員長	平良真一
委員	石川慶
委員	桃原功
委員	伊波一男
委員	知念吉男

副委員長	宮城克
委員	佐喜真進
委員	上地安之
委員	我如古盛英

○欠席委員（0名）

○説明員（48名）

総務部次長	泉川幹夫
市民防災室長	普天間朝彦
人事課長	米須之訓
行政改革推進室長	宮城恵美
IT推進室長	山口久美子
番号制度担当主幹	佐久本嘉一郎
税務課長	津波古良幸
納税課長	真鳥かおり
企画部次長	松本勝利
企画政策担当主幹	本永貴也
企画政策担当技幹	高江洲強
市民協働推進課長	金城美千代
財政課長	知花博史
市民経済部次長	崎間賢
環境対策課長	嘉手納貴子
市民課長	津島美智子
観光農水課長	仲村厚子
産業政策課長	宮城竜次
福祉推進部次長	真喜志若子
児童家庭課長	宮城葉子
保育課長	島袋喜美恵
こども企画課長	新垣育子
障がい福祉課長	宮良弘美
生活福祉課長	野村斉

健康推進部次長	川上一徳
国民健康保険課長	伊佐真
健康増進課長	仲里美智子
建設部次長	古波蔵晃
都市計画課担当技幹	城間勝也
建築課長	中本益丈
土木課長	又吉直広
用地課長	與那嶺論
市街地整備課長	比嘉徹
施設管理課長	仲村等
基地政策部次長	多和田功
基地渉外課長	伊佐英人
消防次長	米須清昌
（消防）総務課長	伊佐隆之
警防課長	又吉清
教育部次長	伊佐英明
施設課長	嶺井辰也
生涯学習課長	佐久原昇
文化課長	比嘉洋
指導部次長	桃原忍子
管理係長	仲宗根一浩
青少年サポートセンター所長	文栄広美
学校給食センター所長	當山全盛
介護長寿支援係長	志良堂孝

○議会事務局職員出席者 伊佐 真也

○本日の委員会に付した事件及びその審査順序

(1) 認定第1号 平成28年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について

【午前】 全体審査

【午後】 歳入審査

閉会中（総務常任委員会）

平成29年10月10日（火）第1日目

○平良眞一 委員長 総務常任委員会を開会いたします。

（開会時刻 午前10時00分）

【議題】

認定第1号 平成28年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について

（全体審査）

～質疑・答弁～

○我如古盛英 委員 前年度と比較し、今年度の決算の歳入の増額理由について伺いたい。

○企画部次長 平成28年度は前年度と比較し、15億円ほどふえている。歳入がふえた理由としては、地方消費税交付金や、地方交付税の減はあるものの、国庫支出金、繰入金、市税、分担金がふえたことが主な要因である。

○我如古盛英 委員 単年度収支額はいくらか。

○財政課長 平成28年度の単年度収支額は9,352万6,062円である。

○我如古盛英 委員 地方財政が困窮しており、さらに国も財政的に厳しいことから臨時財政対策債を発行し、事業を実施しているのか。

○財政課長 議員おっしゃるとおり、地方自治体を取り巻く財政状況は厳しい状況にある中、適正な執行に取り組んでいる。

○我如古盛英 委員 平成25年度～平成29年度の地方交付税の歳入、歳出状況が分かる資料をいただきたい。また、財産売払収入積立金の推移が分かる資料も合わせていただきたい。

○財政課長 資料を提出してまいりたい。

○上地安之 委員 市税の不納欠損額及び収入未済額の内容を伺いたい。

○納税課長 市税の不納欠損額は3,273万9,494円で、昨年度と比較し1,650万8,809円減額で内訳は市民税1,473万7,113円、固定資産税1,676万6,274円、軽自動車税123万6,107円である。

○上地安之 委員 分担金及び負担金の過去3カ年の推移や、法的根拠、事由についての資料をいただきたい。

○企画部次長 関係部署と調整し、提出してまいりたい。

○上地安之 委員 平成28年度決算は前年度と比較し、収入未済額がふえているが、

平成26年度～平成28年度の不納欠損額及び収入未済額の理由や根拠法令について資料をいただきたい。

- 財政課長** 関係部署と調整し、提出してまいりたい。
- 上地安之 委員** 市税における収入未済状況について資料を提出していただきたい。また幼稚園使用料、市営住宅使用料、保育料における収納状況等についても資料を提出していただきたい。
- 企画部次長** 関係部署と調整し、提出してまいりたい。
- 知念吉男 委員** 諸収入が前年度と比較し、減額の理由について伺いたい。
- 教育部次長** 西普天間住宅地区埋蔵文化財緊急発掘調査事業を翌年度に繰り越したため、未済額となったことが主な要因である。
- 知念吉男 委員** 基準財政収入額の減額理由について伺いたい。
- 財政課長** 地方交付税の算定に関する資料を提出してまいりたい。
- 知念吉男 委員** 財産収入の内訳について伺いたい。
- 財政課長** 軍用地料、民有地料、支障除去措置期間補償金、株配当金、利子、土地売却収入、有価証券売却収入が主である。

○**平良眞一 委員長** 休憩いたします。（午前10時55分）

○**平良眞一 委員長** 再開いたします。（午前11時05分）

-
- 桃原功 委員** 健全化判断比率において、実質公債比率が対前年度比0.5ポイント改善された理由を伺いたい。
 - 財政課長** 当該比率は、一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率の3カ年平均である。前年度に償還が済んだ事業が多かったことが主な要因である。
 - 桃原功 委員** 将来負担比率における早期健全化基準について伺いたい。
 - 財政課長** 当該比率は、一般会計等が将来負担するべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率であり、対前年度比4.3ポイント改善され、現在49.6%である。
 - 桃原功 委員** 県内自治体は本土に比べ、自己財源が少ない状況にあることから、財政健全化に向け、他市と勉強会をしてはいかがか。
 - 財政課長** 庁内を初め、県内11市との勉強会を実施している。
 - 桃原功 委員** 法人市民税の減額理由について伺いたい。
 - 税務課長** 税制改正に伴い法人住民税の市町村民税率が9.7%から6.0%に引き下げられたためである。
 - 桃原功 委員** 税率引き下げに伴う減収分を補助金で補填されるのか。
 - 税務課長** 地方法人税（国税）の税率を引き上げ、地方交付税の財源として再

分配するためだが、影響額についての資料は国から示されてはいない。

- 上地安之 委員 使用料及び手数料の収入未済額が分かる資料をいただきたい。
 - 財政課長 関係部署と協議し、提出してまいりたい。
-

- 平良眞一 委員長 午前の会議はこれで終わり、午後は2時から会議を開きます。その間休憩いたします。（午後0時00分）

***** 午後 の 会 議 *****

- 平良眞一 委員長 再開いたします。（午後2時00分）
これより午後の会議を進めてまいります。
-

【議題】

認定第1号 平成28年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について
(歳入審査)

～ 質 疑 ・ 答 弁 ～

- 桃原功 委員 法人市民税の税制改正による法人事業所から歳入減額の補填を地方交付税の交付で賄えるのか。
- 財政課長 地方財政計画において、人口がふえている地方自治体は市税等がふえているため、地方交付税を過疎地域の自治体へ優先的に増額交付を考えており、本市への交付額は若干減少している。ただし、人口がふえることで加算される補助もある。
- 桃原功 委員 個人市民税の不納欠損の理由について説明をいただきたい。
- 納税課長 前年度の収入で賦課を行うため、失業等により納付困難なことが主な要因である。
- 桃原功 委員 市税の収入率が前年度より0.21ポイント、滞納繰越分11.12ポイント改善した理由について伺いたい。
- 納税課長 宜野湾市納税課滞納処分の執行停止取扱基準に基づいた滞納処分の実施と平成28年度に滞納整理係を設置し、収納率向上に取り組んだためである。
- 桃原功 委員 滞納整理係だけで徴収を行うのか。
- 納税課長 納税課全体で徴収を行うが、納税1係、納税2係、滞納整理係の3係で現年から滞納分の納付相談や徴収事務を行っている。
- 我如古盛英 委員 単年度収支額ベースは黒字だが、基金の取り崩しによる影響

なのか伺いたい。

- 財政課長** 基金の取り崩しによる黒字なのは事実だが、単年度収支が黒字だけの場合は予算の積算が甘いか、過剰な不用額が発生している場合があるため、適切な範囲内での増減は必要である。本市は扶助費の増加傾向やさまざまな財政需要に対応するためマンパワーを行使していることから厳しい状況である。
- 我如古盛英 委員** 一括交付金を軍用地の先行取得に充てているため、財政的に厳しい状況にある。そこで、義務的経費及び投資的経費の比率についての説明をいただきたい。
- 財政課長** 扶助費の伸びにより義務的経費がふえ、相対的に投資的経費が減っているように見えるが、依然厳しい財政状況である。
- 我如古盛英 委員** 実質公債費比率について説明していただきたい。
- 財政課長** 元利償還金の中に臨時財政対策債も含めている。
- 我如古盛英 委員** 臨時財政対策債を起債した理由について伺いたい。
- 財政課長** さまざまな市民ニーズに対応するため、普通交付税の代替措置として計上している。
- 桃原功 委員** 拠点返還地(西普天間住宅地区)跡地利用推進交付金の活用について説明していただきたい。
- 基地政策部次長** 平成28年度に13事業を実施し、内訳として基地政策部で6事業、建設部で6事業、教育委員会で1事業を実施したものの、2事業(暫定道路、都市計画マスタープラン)が繰り越しとなる。
- 桃原功 委員** 事業内容について伺いたい。
- 基地政策部次長** キャンプ瑞慶覧跡地利用計画推進事業、西普天間住宅地区跡地利用推進事業(コリドー地区調査、送電線影響把握調査、アドバイザー業務、技術支援、墓地計画、暫定道路、都市計画マスタープラン、交通量調査、景観形成、ランドデザイン(補助)、環境影響評価(補助)、文化財調査)の13事業となる。
- 桃原功 委員** 支障除去期間補償事業について伺いたい。
- 基地政策部次長** 西普天間住宅地区の返還前に市で取得した9.6ヘクタールの補償金として毎年1億4,300万円を平成29年度まで支払われるものとなる。
- 桃原功 委員** 軍用地は投資目的で売買されていたが、土地代は毎年上昇しているのか。
- 基地政策部次長** 返還された地域を除き、現在も普天間飛行場の土地は毎年賃料も上昇しているため投資目的での売買は現在も行われていると推測できる。
- 桃原功 委員** 西普天間住宅地区よりアスベストが出ていたが、支障除去は済んでいるのか。
- 基地政策部次長** 沖縄防衛局より支障除去は大方完了したと伺っている。

- 桃原功 委員** 県内にはアスベストを処理できる処分場がないため、廃棄処理はどこで行ったのか伺いたい。
 - 基地政策部次長** 沖縄防衛局より県外で処分したとの報告を受けている。
 - 桃原功 委員** 青年就労給付費を活用し、大山田いもの生産者の育成を図ってはいかがか。
 - 観光農水課長** 市民が市外で農業を行っている場合に対し支給するが、本市は市街化整備区域のため当該事業の活用は困難である。
 - 桃原功 委員** 大山田いもの地域の保全や生産者育成のため、実態に沿った事業ができるよう見直しを図っていただきたい。
 - 観光農水課長** 調査研究してまいりたい。
-

○**平良眞一 委員長** 休憩いたします。（午後3時00分）

○**平良眞一 委員長** 再開いたします。（午後3時15分）

○**我如古盛英 委員** 財産売払い収入の推移について伺いたい。

○**企画部次長** 過去3カ年分の推移を提出しているが、平成26年度は福寿園と用地売払い収入が主で基金取り崩しも行い、残高6億4,580万円ほど、平成27年度は野嵩保育所に係る譲渡金が主な要因となり、取り崩しなし、残高8億2,700万円、平成28年度は伊佐市営住宅と愛誠園の土地交換差額で1億32万7,000円を積み立てている。

○**我如古盛英 委員** 里道売払い収入の推移について伺いたい。

○**総務部次長** 平成28年度は15筆を売却し1,729万4,920円、平成27年度は6筆を売却し358万5820円、平成26年度は6筆を売却し338万5,790円の歳入があった。

○**我如古盛英 委員** 宜野湾市公共施設等整備基金の活用について伺いたい。

○**企画部次長** 基金は、宜野湾市公共施設等整備基金の設置及び管理に関する条例の第6条に公共施設等の整備のための必要があるときは、その全部又は一部を処分することができる」と規定しており、公共施設等の整備のために充当していくこととなるが、学校施設や道路事業については年度の財源調整の中で基金の配分等を調整していくことになると考えている。

○**我如古盛英 委員** 里道売払いまでの手続きはどこの部署が行うのか。

○**総務部次長** 里道を廃止するまでの手続きは建設部で対応し、その後の手続きは総務課での対応となる。

○**我如古盛英 委員** 前年度と比較し、固定資産税がふえた理由について伺いたい。

○**税務課長** 固定資産税の調定額の増額理由について、土地は負担軽減額の調整による増で、家屋は平成28年度新築課税分の増となる。

○**上地安之 委員** 不納欠損に至る事務処理について伺いたい。

- 納税課長 不納欠損を行う上で、要綱に基づき処理を実施している。
- 上地安之 委員 要綱に基づき処理した不納欠損の件数及び金額について資料をいただきたい。
- 納税課長 提出できるか判断し対応してまいりたい。
- 上地安之 委員 要綱を提出していただきたい。
- 納税課長 提出してまいりたい。
- 上地安之 委員 次に、住宅使用料の不納欠損額が少ないのに対し収納未済額が多い理由について伺いたい。
- 建築課長 滞納はしているものの、分納誓約により不納欠損や執行停止等の処理ができていないためである。
- 上地安之 委員 滞納状況について伺いたい。
- 建築課長 滞納者17名のうち現年未納者が16名である。また、高額滞納額は約20万円である。
- 上地安之 委員 高額滞納者は現在も市営住宅に住んでいるのか。
- 建築課長 現在は退去し、分納誓約により少額分納を交わしている。
- 上地安之 委員 不納欠損等を行わない理由について伺いたい。
- 建築課長 市債権のため、条例整備を行う必要があるためである。
- 上地安之 委員 他市町村の状況を調査し、対応を検討してはいかがか。
- 建築課長 検討してまいりたい。
- 上地安之 委員 行政財産目的外使用料の都市機能用地第三街区について伺いたい。
- 産業政策課長 スーパースポーツゼビオの駐車場の賃借料である。
- 上地安之 委員 駐車場の賃借料は行政財産ではなく普通財産ではないのか。
- 市民経済部次長 市の企業立地推進委員会において大型駐車場を行政財産と位置づけ、当該地域住民の利便性の向上を図るため公営駐車場の整備及び西海岸地域のさらなる発展に寄与するため、企業へ有償貸付を行ったものである。

○平良眞一 委員長 休憩いたします。（午後3時55分）

○平良眞一 委員長 再開いたします。（午後3時55分）

本日の会議時間は、議事の都合により、この際あらかじめこれを延長したいと思います。これに御異議ありませんか。

（異議なし）

○我如古盛英 委員 屋外運動場の施設整備事業の進捗状況が分かる資料をいただきたい。

○施設管理課長 スケジュールを提出してまいりたい。

【審査結果】

質疑の段階で継続審査。

○平良眞一 委員長 本日の委員会を散会いたします。

(散会時刻 午後4時19分)

総務常任委員会会議録（要旨）

○開催年月日 平成29年10月11日（火）

午前10時00分 開議
午後 3時50分 散会

○場 所 第3常任委員会室

○出席委員（8名）

委員長	平良真一
委員	石川慶
委員	桃原功
委員	伊波一男

副委員長	宮城克
委員	佐喜真進
委員	上地安之
委員	知念吉男

○欠席委員（1名）

委員	我如古盛英
----	-------

○説明員（35名）

総務部次長	泉川幹夫
市民防災室長	普天間朝彦
人事課長	米須之訓
行政改革推進室長	宮城恵美
契約検査課長	新垣勉
IT推進室長	山口久美子
番号制度担当主幹	佐久本嘉一郎
税務課長	津波古良幸
納税課長	真鳥かおり
企画部次長	松本勝利
企画政策担当主幹	本永貴也
企画政策担当技幹	高江洲強
市民協働推進課長	金城美千代
財政課長	知花博史
市民経済部次長	崎間賢
環境対策課長	嘉手納貴子
市民課長	津島美智子
福祉推進部次長	真喜志若子

児童家庭課長	宮城葉子
保育課長	島袋喜美恵
こども企画課長	新垣育子
障がい福祉課長	宮良弘美
生活福祉課長	野村斉
健康推進部次長	川上一徳
国民健康保険課長	伊佐真
健康増進課長	仲里美智子
建設部次長	古波蔵晃
施設管理課長	仲村等
基地政策部次長	多和田功
基地渉外課長	伊佐英人
西普天間推進室長	普天間朝信
教育部次長	桃原忍子
生涯学習課長	佐久原昇
青少年サポートセンター所長	文栄広美
介護長寿課支援係長	志良堂孝

○議会事務局職員出席者 伊佐 真也

○本日の委員会に付した事件及びその審査順序

（1）認定第1号 平成28年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について

(歳出1款～4款、11款～14款)

(議会費・総務費・民生費・衛生費・災害復旧費・公債費・諸支出金・予備費)

閉会中（総務常任委員会）

平成29年10月14日（水）第2日目

○平良眞一 委員長 総務常任委員会の第2日目の会議を開きます。

（開議時刻 午前10時00分）

【議題】

認定第1号 平成28年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について

（歳出審査 1款～4款、11款～14款）

～質疑・答弁～

○桃原功 委員 政策参与報酬の事業内容及び設置時期について伺いたい。

○企画部次長 市政における重要課題の解決の促進に資するため平成25年3月に設置規則を制定し、同年4月より嘱託職員としての採用をスタートしている。職務としては、規則にも規定しているが、市長が特に命ずる事項について調査研究し、市長に進言するものである。

○桃原功 委員 政策参与の業務実績について伺いたい。

○企画部次長 現在の政策参与は再雇用で起用している。基地政策部で勤めた経験に基づき基地問題や財政事情などを市長へアドバイスする役職のため、実績を示すのは難しい。

○桃原功 委員 政策参与の勤務実態について伺いたい。

○企画部次長 設置規則に勤務日数は、月のうち10日以内としており、定期的な勤務を義務付けていない。また、市長が依頼し、登庁することもある。

○桃原功 委員 実績が評価しにくいのが、頑張っていたきたい。次に、人事評価制度委託料について説明をいただきたい。

○人事課長 職員独自で人事評価制度を構築する上で必要な職員向けの研修等の委託料である。

○桃原功 委員 人事評価制度の対象は全職員なのか。

○人事課長 対象は全職員で、業績評価と能力評価の2つの評価を直属の上司が行う。平成28年度に施行だが、幼稚園と消防は平成29年度からの実施となる。

○桃原功 委員 人事評価制度を導入するメリットやデメリットについて伺いたい。

○人事課長 業務多忙の中、上司と部下の面談の機会を持つことができたことがメリットとして挙げられる。ただし、自己評価と上司の評価が違う場合、対応

について検討が必要だと考えている。

- 桃原功 委員** 人事評価制度を導入したことにより職場の風通しが悪くなっていないか。
- 人事課長** 現在そのような声はない。また、アンケート調査も合わせて調査研究してまいりたい。
- 我如古盛英 委員** 来客駐車場管理委託料の概要について伺いたい。
- 総務部次長** 市役所駐車場の管理を目的とし繁忙期等に2名を配置するための委託料である。また、過去の実績を基に年間計画表を作成し、シルバー人材センターへ委託契約を行っている。
- 我如古盛英 委員** 今後市役所庁舎入り口前に会議室のプレハブを設置することで駐車場スペースが減少する。そのため、突発的なイベントの開催等による混雑にも対応できるよう引き続き頑張ってください。
- 次に、市民広場管理運営事業について確認したい。警備員を3名配置し、7時から19時まで勤務させているが、警備時間に変更はないのか。
- 総務部次長** 警備時間の変更はない。
- 我如古盛英 委員** ゲートの開放時間を21時まで延長し、警備時間も合わせて延ばせないか。
- 総務部次長** 米軍との協議を重ねて検討してまいりたい。
- 我如古盛英 委員** 市民広場管理運営事業の工事請負費は駐車場の整備に充てるのか。
- 総務部次長** 駐車場の整備及び電気代の費用に充てられている。
- 我如古盛英 委員** 市民課外部窓口業務委託における人員体制について伺いたい。
- 市民課長** 人数の指定はせず、繁忙期、閑散期にそれぞれ委託業者が調整を行い必要に応じた人数を配置している。
- 我如古盛英 委員** 委託事業所に正職員はいるのか。
- 市民課長** 社員1名に残りは嘱託とパートで構成されている。
- 我如古盛英 委員** 委託事業所の正社員をふやし、行政サービスの質の向上を図ることは可能か。
- 市民課長** 2期目の契約がスタートし、事業者と協議を行い正社員7名にふえている。
- 我如古盛英 委員** 安定したサービスの提供に努めていただきたい。次に、1期目で実施していた市民へのアンケート調査を引き続き実施していくのか。
- 市民課長** 1期目の際には契約に定期的にアンケート調査を実施するよう記載していたが、今後もアンケートを実施し、市民サービス向上に努めてまいりたいと考えている。

- 我如古盛英 委員 市民アンケート調査結果等の資料をいただきたい。
- 市民課長 個人情報保護等も精査し、資料を提出してまいりたい。
- 知念吉男 委員 時間外勤務が全体的に多いため、職員の健康状況等のチェックは行っているのか。
- 人事課長 産業医については、精神科医2名、内科医1名おり、月額5万2,500円掛ける12月の3名分を計上している。人事課の保健士2名と産業医の連携による健康相談等を実施している。臨床心理士も月額1万6,500円の42回の予算を計上し、対応していただいている。なお、9月8日現在、病休は17名でそのうち、メンタルが原因で休職中の職員は12名である。
- 知念吉男 委員 一人当たりの勤務時間を把握し、超過勤務の実態を把握しているか。
- 人事課長 時間外の申請は原課で行うため、直接人事課が把握してはいない。ただし、月45時間以上の職員について研修等により経過記録を本人に確認している。今後地方への権限移譲や定数の減等により職員負担がふえていくことが予想されるため、働き方改革を活用するなど改善に向けて取り組んでまいりたいと考えている。
- 知念吉男 委員 職員の健康状態がよくないと市民サービスが低下する。現在正職員は減少し、臨時職員をふやして行政サービスを実施していくことに対しどのように考えているのか。
- 総務部次長 財源が厳しい状況もあり、職員をふやせない中、安易に臨時職員をふやすことはせず、全体のバランスを考慮し、職員配置等を行い、市民サービスの提供に努めてまいりたいと考えている。
- 知念吉男 委員 政策参与の勤務状況を把握しているのか再度伺いたい。
- 企画部次長 政策参与報酬の算定のため月の出勤回数は把握しているが、常勤職員と同様な勤務状況は把握していない。
- 知念吉男 委員 なぜ勤務状況を把握していないのか。
- 企画部次長 政策参与は非常勤で政策参与の設置目的により詳細な把握は行っていない。
- 知念吉男 委員 報酬支払いのための日数は把握しているのか。
- 企画部次長 勤務日数を把握はしているものの、どのような方法で把握しているのか確認して後ほど回答してまいりたい。

○平良眞一 委員長 休憩いたします。（午前11時02分）

○平良眞一 委員長 再開いたします。（午前11時15分）

○桃原功 委員 宜野湾市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業の報償費につ

いて伺いたい。

○**企画部次長** 平成26年度にまち・ひと・しごと創生法に基づき、国の総合戦略における基本目標を勘案し、本市まち・ひと・しごと創生総合戦略において設定した4つの基本目標平成27年度～平成31年度の5ヵ年計画の進捗確認を行う推進委員会を開催し、それに対する報償費を予算計上している。

また、委員は9名おり、学識経験者、産業分野、金融分野、労働分野、市民代表、企画部で構成されている。

○**桃原功 委員** 事業の進捗状況について伺いたい。

○**企画部次長** 4つの基本目標にある各数値目標や、具体的な施策に係る業績評価の達成度を検証するため推進会議を行った。

○**桃原功 委員** 事業委託はいつごろか。

○**企画部次長** 平成27年度より実施している。

○**桃原功 委員** 前年度1,000万円を計上している理由はなぜか。

○**行財政改革推進室長** コンサルタントへの委託料及び臨時職員の人件費である。

○**桃原功 委員** コンサルタントへ委託せず、自ら制定することで市独自の総合戦略を設定することができたのではないのか。

○**行財政改革推進室長** 金融・産・官・学・労の多岐にわたる各専門分野の代表から意見を集約し、戦略を策定している。

○**桃原功 委員** 過疎地域の自治体で結婚に関する取り組みを実施したものの事業が進展しなかったことから当該事業を注視してまいりたい。

次に、沖縄子どもの貧困緊急対策事業のうち報償費に係る内訳及び成果について伺いたい。

○**福祉推進部次長** 4中学校区域ごとに1名の子ども支援員を配置及び2カ所の子どもの居場所づくりを実施し、普天間3区自治会では995人、我如古区自治会では865人が利用している。

○**桃原功 委員** 子どもの居場所ではどのような支援を行っているのか。

○**生活福祉課長** 子どもの居場所がある2自治会において週2回、学習支援後に食事やおやつを提供している。

○**桃原功 委員** 子ども支援員の取り組みについて伺いたい。

○**生活福祉課長** 教育委員会のSSWや学校、ケースワーカーと連携し、支援に繋げている。

○**桃原功 委員** 補助率及び事業年度について伺いたい。

○**生活福祉課長** 事業期間は平成27～30年度の3年間で、内閣府による10割補助を活用している。

○**平良眞一 委員長** 午前の会議はこれで終わり、午後は2時から会議を開きます。

その間休憩いたします。（午後0時00分）

*** 午後の会議 ***

○平良眞一 委員長 再開いたします。（午後2時00分）

これより午後の会議を進めてまいります。

【議題】

認定第1号 平成28年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について
(歳出審査 1款～4款、11款～14款)

～質疑・答弁～

- 我如古盛英 委員 市民広場のグラウンド等整備を定期的には実施できないか。
- 総務部次長 シルバー人材センターへ委託し、定期的に除草を実施していることから、現場を確認し委託事業者と調整の上、対応を検討してまいりたい。
- 知念吉男 委員 清掃事務運営費の清掃指導員報酬の増額理由について伺いたい。
- 環境対策課長 平成27年度は、ごみ減量対策事業で相談員1名と臨時職員1名の計2名を配置していたが、事業の組替に伴い3名の配置に変更したための増である。
- 知念吉男 委員 倉浜衛生施設組合処理負担金の減額理由について伺いたい。
- 環境対策課長 平成25年度～平成27年度に旧施設の解体工事を実施し、前年度までは事業に係る負担金が生じていたが、今年度は事業がないためである。
- 知念吉男 委員 U字型指定ごみ袋の印刷製本費が増額となった理由について伺いたい。
- 環境対策課長 平成27年度に比べ印刷枚数の増に伴い280万円程ふえている。生活系ごみが一人1日当たり500グラムから510グラムへと増加したことが主な要因であると考えている。
- 知念吉男 委員 生ゴミ処理容器購入費補助金の事業実績について伺いたい。
- 環境対策課長 平成28年度は5件で14万2,948円である。
- 知念吉男 委員 当初予算では84万円を計上しているものの、利用件数が少ないため、事業の周知を図っていただきたいと考えるがいかがか。
- 環境対策課長 生ゴミ処理容器の利用件数が少ない理由として堆肥になる過程ででる臭いが住宅事情により利用しにくいケースが考えられる。ただし、前年

度よりも利用者はふえていることから講習や一絞り運動など周知等に努めてまいりたい。

○**桃原功 委員** 市民課窓口業務外部委託の人件費に対する効果額について伺いたい。

○**総務部次長** 市民課窓口業務外部委託事業では新たな委託業者との契約を交わしていることから契約内容を精査し、確認の上、効果額が分かる資料を提供してまいりたい。

○**桃原功 委員** 市民課窓口業務委託に関する市民アンケート調査結果について伺いたい。

○**市民課長** これまで3回アンケート調査を実施し、第1回は52名、第2回は60名、第3回では409名からアンケートの回答をいただいております、全体の70%の方々から好評価を得ている。

○**桃原功 委員** 第2期目の外部委託は公募を行ったのか。

○**市民課長** 平成29年1月に第1回の選定委員会を開催し、3月に公募を開始。2者の応募があり、プロポーザルの結果1期目と同じ業者が落札した。

○**桃原功 委員** 2者による落札金額が分かる資料をいただきたい。次に、旅券事務事業の実績について伺いたい。

○**市民課長** 平成27年度のみの実績になるが、2,146件の申請があり、2,097件交付している。

○**桃原功 委員** 仮設避難港に係る委託事業の内容について伺いたい。

○**企画部次長** 宜野湾市西海岸地域開発事業を活用しオーシャンフロントの形成を目指し今後公募に向けた基礎資料をまとめるほか、企業の意向調査、他事例の情報収集等を目的に事業委託を行っている。また、委員もご承知のとおり、用地や護岸等条件整備に関する課題が多い状態である。

○**桃原功 委員** 委託による事業成果が分かる資料をいただきたい。

○**企画担当技官** 成果品が30部しかない上、内部資料のため委員全員への配布が困難なため事務局と調整し、閲覧できるように対応してまいりたい。

○**平良眞一 委員長** 休憩いたします。（午後2時57分）

○**平良眞一 委員長** 再開いたします。（午後3時10分）

○**我如古盛英 委員** ごみ処理委託事業の増額理由について伺いたい。

○**環境対策課長** 2者に一般家庭ごみの回収を委託している。前年度より500万円ほど増額理由としてステーション方式から門前収集への移行や燃料費の高騰などが要因だと考えている。また、家庭ごみは1台当たりの86万6,205円、粗大ごみは1台当たり82万8,295円で委託している。

- 我如古盛英 委員 門前収集への取り組みについて伺いたい。
- 環境対策課長 ルートの変更等により少しずつ解消を行っている。
- 我如古盛英 委員 (仮称)長田地区児童館維持管理事業の中で燃料費等の負担割合はどのように行っているのか。
- 保育課長 児童館と自治会が使用した料金に応じて負担することとしている。
- 我如古盛英 委員 施設利用における調整はどのように行っているのか。
- 保育課長 月に一度連絡会議を行い、利用調整を行っている。
- 知念吉男 委員 生活保護事業の現状について伺いたい。
- 生活福祉課長 毎年92世帯ほどふえており、その中で単身高齢者世帯が特に伸びている状況である。
- 知念吉男 委員 高齢者が寝たきり状態になる前に未然に防げないのか。
- 健康推進部次長 介護保険事業にて実施している。
- 知念吉男 委員 宜野湾市西海岸地域開発事業の委託料での成果品を会派に一部提供できるように検討していただきたい。
- 企画部次長 成果品の限られた部数の中で対応できるか検討してまいりたい。
- 桃原功 委員 市庁舎耐震改修事業の工程について伺いたい。
- 総務部次長 平成29年度は実施設計に向け防衛局と調整中である。今後の予定は平成30年度に実施設計、平成31年度～平成32年度に工事を予定している。
- 桃原功 委員 耐震改修によりどのぐらい市庁舎施設が保てるのか。
- 総務部次長 市庁舎施設の長寿命化計画を15年から20年で想定している。
- 桃原功 委員 耐震改修は国からの高率補助を受ける予定なのか。
- 総務部次長 現在高率補助を国に求めているところである。
- 桃原功 委員 普天間飛行場は5年以内の運用停止を議会も求めていることから、市庁舎の長寿命化を行わずに返還跡地に新庁舎を建設していただきたいがいかがか。また、高率補助はどのぐらいなのか。
- 総務部次長 返還時期が未定なため、耐震診断により安全基準を満たしていないことから、利用する市民の安全のため市庁舎の長寿命化を図るべきだと考えている。また、補助の割合は75%である。
- 桃原功 委員 市のど真ん中に基地があることから、防衛局に対し市庁舎の補助割合を100%に近い形で要求してほしい。
- 総務部次長 防衛局と調整の上、市庁舎の延命化に向けて努めてまいりたい。

【審査結果】

質疑の段階で継続審査。

- 平良眞一 委員長 本日の委員会を散会いたします。

(散会時刻 午後3時50分)

総務常任委員会会議録（要旨）

○開催年月日 平成29年10月12日（木）

午前10時00分 開議
午後 4時32分 散会

○場 所 第3常任委員会室

○出席委員（9名）

委員長	平良真一
委員	石川慶
委員	桃原功
委員	伊波一男
委員	知念吉男

副委員長	宮城克
委員	佐喜真進
委員	上地安之
委員	我如古盛英

○欠席委員（0名）

○説明員（31名）

総務部次長	泉川幹夫
企画部次長	松本勝利
企画政策担当主幹	本永貴也
財政課長	知花博史
市民経済部次長	崎間賢
産業政策課長	宮城竜次
観光農水課長	仲村厚子
建設部次長	古波蔵晃
都市計画担当技幹	城間勝也
建築課長	中本益丈
土木課長	又吉直広
下水道課長	呉屋武
施設管理課長	仲村等
消防次長	米須清昌
予防課長	島袋保
警防課長	又吉清

教育部次長	伊佐英明
施設課長	嶺井辰也
生涯学習課長	佐久原昇
文化課長	比嘉洋
市民図書館長	辻純一
指導部次長	桃原忍子
指導課長	嘉納貢
青少年サポートセンター所長	文栄広美
学校給食センター所長	當山全盛
（用地課）用地係長	内間穂高
（市街地整備課）計画係長	永山拓朗
（市街地整備課）工事係長	照喜名一史
（市街地整備課）補償係長	比嘉祥二
（はごろも学習センター）管理係長	仲宗根一浩
（消防本部）総務係長	神里壮

○議会事務局職員出席者 伊佐 真也

○本日の委員会に付した事件及びその審査順序

- 認定第1号 平成28年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について
（歳出5款～10款）
（労働費・農林水産業費・商工費・土木費・消防費・教育費）

閉会中（総務常任委員会）

平成29年10月12日（木）第3日目

○平良眞一 委員長 総務常任委員会の第3日目の会議を開きます。

（開議時刻 午前10時00分）

【議 題】

認定第1号 平成28年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について
（歳出審査 5款～10款）

～質疑・答弁～

- 我如古盛英 委員 消防備品の備えは十分なのか。
- 消防次長 石油貯蔵施設周辺を整備するための予算で本市では元の南西石油の場所が対象となる。
- 警防課長 A E Dとバスケット担架、油圧切断機の資器材をそれぞれ2機整備した。
- 我如古盛英 委員 大規模災害に備えた予算として消防備品はあるのか。
- 消防次長 そのとおりである。
- 我如古盛英 委員 消防団の備品の増減理由について伺いたい。
- 警防課長 消防団は2分隊あるが、小型動力ポンプが1台しかないため、さらに1台をふやすため去年より増額となっている。
- 我如古盛英 委員 費用弁償及び消耗品費の増減理由について伺いたい。
- 警防課長 中部地区の消防団の総合大会が意見発表会へ変更に伴う費用弁償の減、消耗品費は消防団員の増による夏服の購入等により前年度より増額となっている。
- 知念吉男 委員 機構集積支援事業について伺いたい。
- 観光農水課長 市内は市街化区域だが、大山田いもの農地の現況調査をするための予算である。
- 知念吉男 委員 過去5年間の大山田いもの農地面積の推移が分かる資料をいただきたい。
- 観光農水課長 提出してまいりたい。
- 知念吉男 委員 田いもの保全地域の確保や後継者の育成のため沖縄振興予算を活用できないか。

○**観光農水課長** 本市が市街化区域のため農地プランを作成できず、青年就農交付金の活用も困難なことから、今後補助メニューの活用が可能なのか調査研究してまいりたい。

○**知念吉男 委員** 大山田いも地域を市街化区域から外すことは可能なのか。

○**建設部次長** 住民の合意形成や都市計画マスタープランの位置付けの変更は安易にできないことから困難である。

○**知念吉男 委員** 大山田いもの振興のため頑張っていたきたい。次に、産業立地推進事業の企業リサーチ委託業務について伺いたい。

○**産業政策課長** ベイサイド情報センターやマリン支援センターに入居しているさまざまな企業の財務状況を事前に把握し育成や企業誘致等に活用している。

○**知念吉男 委員** 今年度のみ予算なのか。

○**産業政策課長** 過去に誘致した企業の調査等も行っており、毎年予算を計上し調査委託を行っている。

○**上地安之 委員** 不用額の整理はいつごろなのか。

○**財政課長** 金額が大きい契約については直近の定例会へ補正予算として執行残を計上している。

○**上地安之 委員** 事業執行せずに不用額として計上している事業が見受けられる。予算計上については十分な予算ヒアリングを行い、事業を執行していただきたい。

次に、空き店舗対策事業はいつから商工会に委託しているのか。

○**産業政策課長** 平成28年度より商工会に委託し実施している。

○**上地安之 委員** 商工会へ委託したことによる違いはあるのか。

○**産業政策課長** 平成27年度以前は毎年15件前後で推移していたが、平成28年度は12件と事業の活用が減っている。きめ細かいサービスを実施しているものの周知不足が要因と考えている。

○**上地安之 委員** 家賃補助以外に補助はあるのか。

○**産業政策課長** 商工会へ委託する上で委託期間分の職員給与も含めて補助を行っている。

○**上地安之 委員** 商工会への指導の充実も図り、今後も頑張っていたきたい。

次に、西普天間住宅地区跡地利用推進事業（暫定道路）の名称について伺いたい。

○**土木課長** 平成28年度予算までは暫定道路という名称も使用しておりましたが、暫定道路だと一時的に利用される道路と勘違いされることもあるため、西普天間住宅地区と国道58号間をつなげる道路として、平成29年度からはアクセス道路という名称に変更している。

○**上地安之 委員** 暫定道路の現状について伺いたい。

- 土木課長 平成28年度から平成29年度にかけて基礎調査を実施している。また、その成果をもとに道路計画について米軍との協議を予定している。
- 上地安之 委員 当該事業のハード事業について拠点返還跡地利用推進交付金を活用しているのか。
- 土木課長 次年度からは防衛省の補助を活用し、実施設計を行う予定である。
- 上地安之 委員 県内で拠点返還跡地利用推進交付金を活用している自治体はあるのか。
- 行政改革推進室長 県内では宜野湾市のみとなる。
- 上地安之 委員 都市計画マスタープランや交通量調査は継続していくのか。
- 建設部次長 都市計画マスタープランの審議会を開催し、西普天間住宅地区を追加し、今後庁議に諮る予定である。
- 上地安之 委員 国道に接する部分の高架式道路は左折のみの設置を予定しているが、右折も設置していただくよう国とも検討してはいかがか。
- 土木課長 幹線道路の渋滞緩和を行う上で信号制御は極力避けたいとの国の見解もあり、右折帯の設置は費用対効果の面からも設置は困難であるが、再度国道と調整してまいりたい。
- 上地安之 委員 ぜひ実現できるよう検討していただきたい。

-
- 平良眞一 委員長 休憩いたします。（午前10時53分）
 - 平良眞一 委員長 再開いたします。（午前11時05分）
-

- 我如古盛英 委員 農業振興費の繰越明許費の額が多い理由について伺いたい。
- 観光農水課長 大山土地区画整理区域における田いもの保全地域について指針を受け、地権者や田いも生産組合、JAへアンケートによる意向調査を実施し、調整等に時間を要したためである。
- 我如古盛英 委員 当該事業の現状について伺いたい。
- 観光農水課長 アンケートを実施し、意向調査結果を委託事業者が取りまとめている最中である。
- 我如古盛英 委員 アンケート調査の進捗状況について伺いたい。
- 観光農水課長 現在350通余りのアンケートを送付し、100通ほどしか回収できていない。個人訪問を実施し、90%の回収率を目指している。また、10月末頃に方向性を決定したいと考えている。
- 我如古盛英 委員 アンケートをいただきたい。
- 観光農水課長 提出してまいりたい。
- 我如古盛英 委員 区画整理事業への移行はどのように考えているのか。
- 建設部次長 観光農水課で実施している田いもの振興や保全に関するアンケート

ト調査を実施していることから、意向調査を踏まえ保全地域を確保し事業化に向けて取り組んでいきたいと考えている。

○我如古盛英 委員 ベイサイド情報センターやマリン支援センターの収支報告書を提出してまいりたい。

○産業政策課長 資料を提出してまいりたい。

○観光農水課長 資料を提出してまいりたい。

○知念吉男 委員 道路維持管理事業について伺いたい。

○土木課長 市内の市道518路線、街路灯475機、街路樹52路線の管理や道路台帳の作成等を委託している。

○知念吉男 委員 委託先は市内事業者なのか。

○土木課長 市道の道路維持管理を市内2事業者へ委託し、樹木についても同様に2者へ委託している。

○知念吉男 委員 市民からの苦情等により道路の危険個所が判明していることが多いと感じる。道路の状態等の把握はどのように行っているのか。

○土木課長 上水道、下水道の管の腐食等の確認を市内全箇所を実施するのは限られた予算の中で実施するのは困難な状況である。補助金を活用し対応できるかどうか検討してまいりたい。

○知念吉男 委員 交通量の多い路線を重点的に確認していただきたい。また、側溝のふたがない箇所についても早期に対応していただきたい。

次に、公園管理の中に緑化のための花の苗等の予算は含まれているのか。

○建設部次長 都市計画課において花いっぱい運動事業を実施しており、そこでは苗木の配布等は行っているが、公園管理にはそのような予算は含んでいない。

○知念吉男 委員 公園の花等はどこが管理しているのか。

○施設管理課長 公園の指定管理者の仕事は樹木の剪定、清掃を委託している。花の植樹などについては愛護団体などが行っている。

○知念吉男 委員 愛護団体が活動しやすいように助成金はないのか。

○建設部次長 先ほども述べたが、花いっぱい運動事業にて愛護団体を中心に83団体へ助成をしている。

○知念吉男 委員 助成金をふやし、さらなる育成に努めていただきたい。

○平良眞一 委員長 午前の会議はこれで終わり、午後は2時から会議を開きます。その間休憩いたします。（午後0時00分）

*** 午後の会議 ***

○平良眞一 委員長 再開いたします。（午後2時00分）

これより午後の会議を進めてまいります。

【議 題】

認定第1号 平成28年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について
(歳出審査 5款～10款)

～質疑・答弁～

○桃原功 委員 道路景観整備事業について伺いたい。

○土木課長 市道真志喜26号と真志喜9号の2路線を歩道改良及び植栽を間引き、街灯を含めた改良工事となる。今年度は市道真志喜26号の設計を行い、工事発注を予定している。

○桃原功 委員 コンベンション通りはどのような改良工事を予定しているのか。

○土木課長 全区間は400メートルあるが、今年度は宜野湾バイパスから宜野湾高校入口までの一部区間の改良工事を予定している。インターロッキングをはがし並びかえを行った後、通り会で決定したレンガ色での塗装と街路灯の取り替えを行う予定である。

○桃原功 委員 歓海門通りの縁石が青く塗装しているのも当該事業なのか。

○土木課長 おっしゃる通り同事業で実施している。

○桃原功 委員 歓海門通りの縁石の青色が不評なのでコンベンション通りと異なる色にするのか。

○土木課長 歓海門は青い海や砂浜をコンセプトにした内容であるが、コンベンション通りをレンガ色にすることで通りの違いが分かるように設計を行っている。また、塗装の色については歓海門と異なり通り会で決定し、景観に沿った色で塗装する予定である。

○桃原功 委員 地域住民に好かれる色、景観に沿った色になるよう期待している。

次に、宜野湾11号道路整備事業において土地購入費が約6,200万円、補償金が約1,300万円しか計上していない。地権者の同意がすべて得られているのか伺いたい。

○土木課長 用地購入費の補償については、90メートルの民有地に関して地権者からすべて購入済みである。

○桃原功 委員 去る8月1日の返還式典の時期にはまだ地権者から100パーセントの同意を得ていないとの新聞報道があった。100パーセントの同意を得ないでよいのか。

- 土木課長** 当時地権者から100パーセントの同意を得ることが足かせとなり、事業展開に至らなかった理由が報道されていた。防衛局より100パーセントの同意を得た上で事業を実施するようとの通知を文書で受けていないことから、通常の土木工事と同様70～80パーセントの同意を得た上で事業を実施した。また、巻き添え返還により同意を得ることが困難な箇所があることから、今後個々の地権者と合意形成を図ってまいりたいと考えている。
- 知念吉男 委員** 公園施設管理運営事業の指定管理者評価委員報酬について伺いたい。
- 建設部次長** 委員構成は7名、そのうち3名は外部委員で外部委員への報酬である。平成30年度に向け新たな業者選定と現在の指定管理者の評価を行うものである。
- 施設管理課長** 平成28年度に委員の委嘱をし、平成29年度に指定管理者の選定をスムーズに実施できるように取り組んだものである。
- 知念吉男 委員** 評価だけでなく選定も委員が行うのか。
- 施設管理課長** これまでと異なり評価だけでなく、選定も委員が行っている。
- 知念吉男 委員** 名称を評価委員報酬から選定委員報酬に変更しないと理解し難いので見直してほしい。
- 我如古盛英 委員** 同事業について伺いたい。市民サービスの向上のため指定管理者に対し内部評価の提出などを実施しているのか。
- 施設管理課長** 年度ごとに業務報告書の提出を義務付け、指定管理の財務状況や勤務している方の処遇について把握を行っている。
- 我如古盛英 委員** ベイサイド情報センターの指定管理評価委員会の実施状況について伺いたい。
- 産業政策課長** 会計管理及び労務管理の評価を外部委託で実施した。また、平成28年度に委員会を2回開催し、委嘱と募集要項の作成を行い、平成29年7月に新たな事業者の選定を実施した。
- 我如古盛英 委員** 会計管理及び労務管理を提出できないか。
- 産業政策課長** 現指定管理者への影響も含め、確認し対応してまいりたい。
- 我如古盛英 委員** マリン支援センターの指定管理者の評価についても伺いたい。
- 観光農水課長** 平成27年～平成28年にかけて委員6名による評価を実施している。
- 我如古盛英 委員** 資料を提出できないか。
- 観光農水課長** 現指定管理者への影響も含め、確認し対応してまいりたい。
- 我如古盛英 委員** 海浜公園の指定管理についても同様に資料をいただけないか。

- 施設管理課長 現指定管理者への影響も含め、確認し対応してまいりたい。
 - 我如古盛英 委員 マリン支援センターの経営状況について伺いたい。
 - 観光農水課長 指定管理期間で考えると修繕費がなければ赤字はないが儲かりもしない状況となる。
 - 我如古盛英 委員 ベイサイド情報センターで損失が出た場合に市はどのように対策を行うのか。
 - 産業政策課長 仕様書に赤字の場合でも市は補填しないと定めていることから指定管理者の自助努力で頑張ってもらう以外はないと考える。
-

- 平良眞一 委員長 休憩いたします。（午後3時09分）
 - 平良眞一 委員長 再開いたします。（午後3時20分）
-

- 我如古盛英 委員 給食センター維持管理費の中の生ゴミ回収処理委託料が増額理由について伺いたい。
- 指導部次長 契約公開に伴う契約単価の増が主な要因である。
- 我如古盛英 委員 契約先はどこなのか。
- 給食センター所長 去年と同様養豚業者である。
- 我如古盛英 委員 給食残量調査を実施しているのか。
- 給食センター所長 県より委託を受け、毎年6月と11月に調査を実施している。
- 我如古盛英 委員 県の調査以外にも給食残量調査を行っているのか。
- 給食センター所長 確認の上、後日回答してまいりたい。
- 我如古盛英 委員 給食センター調理業務等委託民間事業における食の安全性などの調査は実施しているのか。
- 給食センター所長 直営時と変わらない食の提供や生徒との交流についても併せて実施している。また、学校長や栄養士、PTAの方にも味の確認を実施し、直営時と同様の評価をいただいている。
- 我如古盛英 委員 子供たちの意見確認は行っていないのか。
- 指導部次長 正式な調査は実施していない。
- 我如古盛英 委員 実際に食する子供たちの意見聴取をしていただきたい。
- 知念吉男 委員 宜野湾市いじめ問題専門委員会の活動状況について伺いたい。
- 指導課長 年に2回開催し、委員は4名で構成され、いじめが起きないように話し合うほか、実態の報告を審議し、審議結果を学校側にフィードバックしている。ただし、重大案件があればその都度開催している。
- 知念吉男 委員 いじめ問題の件数がふえている理由について伺いたい。
- 指導課長 大津市のいじめ問題を境に、被害者が苦痛を感じればいじめだといじめに関する定義を文科省が変更し、いじめ件数がふえたため、解消の件数を

重要視している。

- 知念吉男 委員 子供たちが楽しく学校生活を過ごせるように指導すべきだと考えるがいかがか。
- 指導課長 委員おっしゃる通り、専門家の意見も取り入れ、いじめが起きないように未然防止に努めている。
- 知念吉男 委員 スクールソーシャルワーカー活用事業の活動内容について伺いたい。
- 指導部次長 S S Wアドバイザーを青少年サポートセンターに1名配置し、S S Wコーディネーター及びS S Wの統括と指導、助言等を行うことが主な役割である。次に、S S Wコーディネーターは、中学校区ごとに各1名、計4名を配置し、学校配置のS S Wの指導、助言及び学校関係機関との連絡調整を行っている。最後に、S S Wは市内に17名配置し、児童生徒への声かけ指導など学校生活への適用及び問題行動の未然防止や早期発見、早期解決を図り、登校支援、学級復帰を促すことが主な目的である。
- 知念吉男 委員 市内の不登校の児童数は何名いるのか。
- 指導部次長 正確な数については資料がないため、後日回答してまいりたい。
- 知念吉男 委員 学校を30日間休学した場合に不登校と判断されるが、30日未満休学している児童についても解決が図れるよう対策を講じていただきたいがいかがか。
- 指導部次長 委員のおっしゃる通りいじめを初め家庭環境等さまざまな問題があると考えている。関係機関と連携し、未然防止に努めるとともに楽しい学校生活を過ごせるよう環境整備に努めてまいりたい。
- 知念吉男 委員 学力向上だけではなく、雰囲気の良い学校づくりを行うことで成績も自然によくなると思う。本市の教育委員会の働きに期待しているので頑張っていたきたい。

【審査結果】

質疑の段階で継続審査。

- 平良眞一 委員長 休憩いたします。（午後4時07分）
 - 平良眞一 委員長 再開いたします。（午後4時10分）
-

【議題】 集中審議の実施について

- 平良眞一 委員長 休憩いたします。（午後4時10分）
- 平良眞一 委員長 再開いたします。（午後4時20分）

【協議結果】

集中審議は実施しないことに決定。

【議題】 総括質疑の実施について

○平良眞一 委員長 休憩いたします。（午後4時20分）

○平良眞一 委員長 再開いたします。（午後4時32分）

【協議結果】

1. 総務事務運営費（政策参与報酬）に関する資料

2. 普天間飛行場促進返還対策事業について

3. 西普天間住宅地区跡地利用推進事業（コリドー地区調査）について

4. 西普天間住宅地区跡地利用推進事業（暫定道路）について

以上4件について、再度確認を行うことに決定。

○平良眞一 委員長 本日の委員会を散会いたします。

（散会時刻 午後4時32分）

総務常任委員会会議録（要旨）

○開催年月日 平成29年10月13日（金）

午前10時00分 開議
午後 0時34分 閉会

○場 所 第3常任委員会室

○出席委員（9名）

委員長	平良真一
委員	石川慶
委員	桃原功
委員	伊波一男
委員	知念吉男

副委員長	宮城克
委員	佐喜真進
委員	上地安之
委員	我如古盛英

○欠席委員（0名）

○説明員（9名）

総務部次長	泉川幹夫
人事課長	米須之訓
企画部次長	松本勝利
財政課長	知花博史
秘書広報課長	上地章弘

基地政策部次長	多和田功
基地渉外課長	伊佐英人
建設部次長	古波蔵晃
土木課長	又吉直広

○議会事務局職員出席者 伊佐 真也

○本日の委員会に付した事件及びその審査順序

（1）認定第1号 平成28年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について
（総括質疑）

○総務事務運営費（政策参与報酬）に関する資料

○普天間飛行場促進返還対策事業について

○西普天間住宅地区跡地利用推進事業（コリドー地区調査）について

○西普天間住宅地区跡地利用推進事業（暫定道路）について

閉会中（総務常任委員会）

平成29年10月13日（金）第4日目

○平良眞一 委員長 総務常任委員会の第4日目の会議を開きます。

（開議時刻 午前10時00分）

【議 題】

認定第1号 平成28年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について
（総括質疑）

～質疑・答弁～

- 知念吉男 委員 政策参与報酬の勤務状況は何に定めているのか。
- 行政改革推進室長 平成25年3月に宜野湾市政策参与設置規則に勤務条件を定めている。
- 知念吉男 委員 規則をいただきたい。
- 企画部次長 宜野湾市政策参与設置規則の写しを提供してまいりたい。また規則は、第1条に設置、第2条に職務、第3条に任用、第4条委嘱及び委嘱期間、第5条報酬等、第6条に勤務条件、第6条勤務条件、第7（守秘義務）、第8条（解嘱）、第9（補則）で構成されている。
- 知念吉男 委員 勤務条件はどのようになっているのか。
- 企画部次長 規則の第6条の勤務条件に政策参与の勤務日数は、月のうち10日以内とするとうたっている。
- 知念吉男 委員 勤務状況等を日誌で残しているのか。
- 企画部次長 市政における重要課題の解決の促進に資するため、市長が特に命ずる事項について調査研究し、市長に提言するものとする。県も同様に政策参与を設置しているが、知事へのアドバイザー的なやりとりについて日誌やメモ等はない。
- 知念吉男 委員 市長の訪米要請行動報告会に参加した。そこで、要請項目1、普天間飛行場を絶対に固定化・継続使用せず一日も早い閉鎖・返還を実現すること。2、返還されるまでの間の普天間飛行場の危険性除去及び負担軽減を日米両政府においてこれまで以上の取り組みを行うこと。3、普天間飛行場に配備されているMV-22オスプレイを他の拠点へ移駐すること。4、市民生活への影響が特に大きい夜間飛行及び住宅地上空における旋回飛行訓練を行わないこと。以上4点の要請内容が現在一つも解決されていないことから、訪米予算の

内訳と要請先について伺いたい。

- 基地政策部次長** 特別旅費301万2,120円のうち訪米要請には189万7,880円を支出し、残りの特別旅費については国、県等への会議や要請に出張参加するための費用である。
- 基地渉外課長** 米国政府機関として国務省と国防総省、連邦議会議員、シンクタンク等へ4つの項目を要請した。
- 知念吉男 委員** 要請先には要請項目のみを伝えたのか。
- 基地渉外課長** 要請では要請事項以外に普天間基地の現在の状況を説明するとともに基地を取り囲む本市の状況や生活に支障が出ていることを踏まえ1日も早い返還をしていただきたいという地元の生の声も届け、要請を行った。
- 知念吉男 委員** 要請先からどのような回答をいただいたのか。
- 基地渉外課長** 米国政府からは移設に向け進めてまいりたいとの回答をいただいている。
- 知念吉男 委員** 4つの要請事項のうち一つも解決していないことから、次年度以降予算計上を行うのであれば、要請事項が解決できるよう要請していただきたい。

次に、西普天間住宅地区跡地利用推進事業（コリドー地区調査）の現状について伺いたい。

- 基地政策部次長** コリドー地区南側の早期返還を目指していることから、西普天間住宅地区の跡地利用計画との連携を早期に着手する必要があることから、コンサルタントへ委託し、開発手法等の基礎調査を実施したものである。
- 知念吉男 委員** 西普天間住宅地区とどのような連携を図るのか。
- 基地政策部次長** コリドー地区は国道58号と隣接していることから、西普天間住宅地区と交通面の改善につながると期待はしているが、現在は基礎調査の段階のため具体的な跡地利用計画や地権者説明会等は今後行う予定である。
- 桃原功 委員** 仮説避難港の資料の提出はまだなのか。
- 企画部次長** 部数が少ないことから事務局へ提出を済んでいるため確認をお願いしたい。
- 桃原功 委員** 訪米要請は何名で行ったのか。
- 基地政策部次長** 市長、基地政策部長、基地渉外課長、通訳の4名で要請に行った。また、日程については提出した資料のとおりである。
- 桃原功 委員** 基地負担推進会議と作業部会の開催状況について伺いたい。
- 基地渉外課長** 県政が変わり、1年9カ月ぶりに推進会議や作業部会が開催された。
- 桃原功 委員** 普天間飛行場の5年以内の運用停止以外の4項目の要望について伺いたい。

- 基地渉外課長** 普天間飛行場の5年以内の運用停止、キャンプキンザーの7年以内の全面返還、日米地位協定の情報追加及び改定、オスプレイ12機程度の県外配備の4項目を要望している。
- 桃原功 委員** 日米地位協定の情報追加及び改定内容について伺いたい。
- 基地渉外課長** 返還の3年前から文化財発掘調査のため既存施設へ米軍施設・区域への立ち入り調査や日米の環境基準よりも厳しい条件の適用といった項目を要望している。
- 桃原功 委員** 推進会議や作業部会にて政府より辺野古移設が進展しない限り普天間飛行場の返還はできない旨の説明等があったのか伺いたい。
- 基地渉外課長** 基地負担推進会議や作業部会において議論には上がっていないと聞いている。
- 桃原功 委員** 稲田防衛大臣が統合計画の中で述べているが、把握しているか。
- 基地渉外課長** 資料が手元にないため確認できない。

【審査結果】

質疑の段階で継続審査。

- 平良眞一 委員長** 休憩いたします。（午後0時10分）
- 平良眞一 委員長** 再開いたします。（午後0時26分）
-

【議 題】

認定第1号 平成28年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について

【質疑終結】

【討 論】

～反対討論～

- 桃原功 委員** 一括交付金のうち11億3,000万円を普天間基地返還後の跡地利用に係る土地購入費に充てられている。これらは、福祉や産業支援等のソフト事業にもっと充てるべきだと考える。

また、審査を行う上で要求資料は速やかに提出していただきたい。

～賛成討論～

- 上地安之 委員** 一括交付金の活用方について指摘については、これまで普天間飛行場返

還促進事業として土地を先行取得すべき単費で購入してきた。現在は補助率 10 分の 8 の一括交付金を活用し、将来に向けた跡地利用計画における公共施設の土地確保、道路の土地確保などを確保するため必要である。他の事業を単費で運用することに対し評価するものとする。また、資料要求に対する当局の対応方について速やかに対応すべきものと理解はするが、今後の事業展開に期待し、賛成の立場で討論とする。

【審査結果】

挙手採決の結果、賛成多数をもって認定すべきものと決する。(賛成 5 : 反対 3)

○平良眞一 委員長 本委員会を閉会いたします。

(閉会時刻 午後 0 時 3 4 分)